

# こんにやく文化

## 「大事に育んで」

### 保健大でフォーラム

こんにやくの魅力を広く知ってもらおうと、日本こんにやく協会（東京都）が26日、青森市の県立保健大でフォーラムを開いた。料理研究家の枝元なほみさんが講演し、こんにやくを日本の食文化の一つと紹介して、「大事にして育んでいくべきだ」と話した。

こんにやくは、サトイモ科のコンニャクイモから作る加工食品。ジャガイモと違い、成長するのに2〜3年かかる。枝元さんは「そのままでは食べないものだが、日本人は長く食べつないできた。利益のために急いで食品をつくる時代に大切な食文化だ」と話した。

その後、パネルディスカッションがあり、枝元さんが「若い人に食べてもらうには」と問いかけると、同大健康科学部4年の鶴田幸恵さんは「一人暮らしをしているが、（しらたきなどを）もう少し小分けにして販売してくれると使いやすい」などと話していた。